

7月上旬  
連載開始予定!

# 球音、永遠に



聞き書きシリーズ

日本野球連盟九州地区理事長

福嶋一雄さん

## 夏の甲子園2連覇、小倉高の元エース 戦後の混乱期、街に「希望」

西日本新聞の「聞き書き」シリーズに、終戦後間もない夏の甲子園大会で2連覇を達成、九州に初めて深紅の優勝旗をもたらした小倉高野球部(旧制小倉中、北九州市小倉北区)のエースで、現在は日本野球連盟九州地区理事長を務める福嶋一雄さん(84)が登場します。

占領軍下で食糧も物資も満足にない時代、福嶋さんたち倉高ナインは空腹をこらえ、泥まみれで白球を追いかけて栄光をつかみました。その活躍は、敗戦の混乱の中で沈んでいた地元を熱狂させ、まだ道筋も見えない戦後復興の「希望の光」として喝采を浴びました。

福嶋さんは3連覇を逃した高校3年の夏の大会、一つまみのグラウンドの土をポケットに納め球場を後にします。今、球児が「甲子園の土を持ち帰る」姿は試合後恒例の情景ですが、その最初の選手とも言われているのが福嶋さんで、伝説の球児なのです。

その後、早稲田大、八幡製鉄(現新日鉄住金八幡)で活躍、現役を退いてからはアマチュア球界の発展に尽力。2013年、野球殿堂入りしました。

連載のタイトルは「球音 永遠に」(7月上旬スタート予定、80回前後の見込み)。今年は戦後70年、高校野球の前身である旧制中学の全国大会がスタートして100年の節目です。福嶋さんが語る、

戦後の焼け野原から始まった激動の野球人生、白球に懸けた男たちの熱いドラマにご期待ください。



### 福嶋一雄さんプロフィール

1931年生まれ。44年、旧制小倉中に入学し、47、48年の夏の甲子園大会連覇に貢献。48年は全5試合で完封勝ちの快挙を成し遂げる。50年に早稲田大入学、54年に八幡製鉄所に入社。東京六大学リーグや都市対抗野球でチームの優勝に貢献した。85年から日本野球連盟九州地区理事長。北九州市小倉北区在住。



写真右/甲子園大会で活躍した福嶋一雄さん(1947年) 左/群衆で埋まった優勝歓迎会(1947年) いずれも小倉高野球部OB会愛宕クラブ所蔵

歩く新聞。  
the WALKING NEWSPAPER

西日本新聞購読申込み専用ダイヤル

受付時間  
午前10時～午後5時  
日・祝日除く

TEL.093-511-1301

<http://nishinippon.co.jp/>

